

令和8年2月発行

編集委員会ニュース(第4号)

一次原稿の執筆奮闘中

今年度はこれまでの調査・資料収集をもとに、6つの部会では鋭意執筆を進めています。3月末を目途に一次原稿が出来上がる予定です。来年はいよいよ見積りの上、市への補助金申請をしていきます。是非活動を応援ください。

【今後の概日程】

- 令和8年度 見積もり、補助金申請、原稿推敲
- 令和9年度 編集委員会内部校正
- 令和10年度 出版社への原稿出し、出版(年度末)



集まってきた一次執筆原稿

写真や絵図を多用し、いつも左上にタイトルが来て見やすくなります。文体もますます調で読みやすくなります。

「郷土のくらしと道具展」開催中

本洗馬歴史の里資料館 3月15日までの金・土・日曜日・祝日
本洗馬歴史の里資料館(元町)で展示会が開催されています。これは、昨年10月のふるさと文化祭の「洗馬地区誌展」の展示物を移設し、さらに資料館で洗馬の近代資料を集めたものです。ビデオ「美しき洗馬」の上映もあり、見所満載です。ぜひお越しください。



昨年の「洗馬地区文化祭」
百瀬市長への展示説明の様子



公民館の貸衣装(戦後の生活改善運動)



洗馬消防団長法被などに見入る来館者



国産第1号の蓄音機など



「結核の神様」熊谷岱蔵博士



「こが」と呼ばれた水瓶

今回は「近世部会（江戸時代）」を紹介



私達の住む洗馬地区は江戸時代、高遠藩（上伊那）の飛び地でした。朝日村も合わせ「洗馬郷」とよばれ、本洗馬村、岩垂村、小曾部村に分かれていました。

地区には今も多く古文書や古絵図が残されています。部会ではそれら資料を調査し、現地にも赴いてお話をうかがい、「3章、高遠藩飛び地洗馬郷」「4章、洗馬文化」の執筆を進めています。

部員 写真後列 橘 浩明 熊谷もと美 宮本洋一(副部会長)
写真前列 古田米實 中原彦彦(部会長) 宮本清道

洗馬の山の名前はいつから 部会の調査より

妙義山

妙義山の麓の上町・中町・下町地区は茅葺の家が街道沿いに立ち並び、延焼しやすく、度々大火が発生しました。そこで寛永4（1751）年、群馬県の妙義神社を勧請し、山頂に妙義神社を建立しました。以後現在に至るまで妙義神社への代参と火除札の配布が続いています。



三村氏妙義山城の面影 昭和30年ころ



寛永4年妙義神社勧請の古文書(槻井泉神社蔵)



妙義大神火除札(全戸配布)

からたきの峯

萱野の奥にあり、夏には合同登山も行われている「からたきの峯」（1858m）は、江戸時代（1789頃）の古文書に「から瀧の峰」として登場します。萱野からの野火が山頂から燃え下り、村中総出で消火に当たりました。



からたきの峯(小曾部谷の東奥山より)

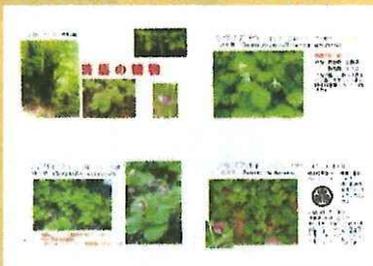
洗馬の自然学習会開かれる

すがた部会では、昨年11月に元塩尻市自然博物館館長の野溝美憲氏をお招きし、自然学習会を開きました。

野溝さんは頻りに小曾部谷などを訪れ、貴重な植物・昆虫・キノコなどを記録にとどめています。植物では洗馬に548種類もあり、学習会ではそれらを紹介して頂きました。この豊かな自然に満ちた洗馬を地区誌で残して行きたいと思ひます。



野溝美憲氏



洗馬の植物(13ページ綴り)



洗馬の昆虫(13ページ綴り)

昔の洗馬の写真を探しています。(伊勢湾台風被害、コロナの感染対策、大雪ハウス潰れ)

問い合わせ 事務局 征矢野 泉 090-6527-3545